

入社式における社長メッセージについて

記者各位

本日、開催いたしました「2008年度入社式」における、当社社長 西尾 進路による新入社員へのメッセージは以下のとおりです。また、社長挨拶の後、常務以上が一言コメントし、新入社員全員による決意表明が行われました。

なお、本年度の新入社員数は161名(内訳:大学院・大学卒/事務系=24名・技術系=51名、高専卒技術系=12名、高校卒=74名)となります

当社グループは、経営理念として「Your Choice of Energy エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します。」を掲げている。これは、石油はもちろん電気やガス、水素にいたるまで、あらゆるエネルギーを安定的に供給する「総合エネルギー企業」になること。同時に地球環境に配慮したエネルギーを創造することで、自然と調和した社会を実現し、人々から最も信頼される企業グループになることを目指している。

日本経済は、全体としては緩やかな回復基調を維持しており、また個人消費も底堅い。しかし、年明け以降、各種生活必需品の価格上昇は家計を直撃、さらには昨今、円高が急激に進行するなど、景気の先行きは予断を許さない状況である。また原油価格が高止まりする一方で、国内の石油製品の需要は著しく減少しており、当社事業の中核を担う石油精製・販売部門にとっては非常に厳しい環境となっている。

そのような状況下で、今年2008年度からスタートする第4次中期経営計画においては、次の4つの点に注力する。

1つ目は、「コア事業の収益力回復」。当社の石油精製・販売部門は3年連続の大幅赤字が確実であり、製油所トラブルを撲滅し安定かつ安全に操業する一方、販売組織や活動の効率を高め、競争力を強化する。2つ目は、「新規技術型事業の推進に向けた研究開発体制の再構築」。国内の石油需要が減少傾向にある中、研究開発部門に寄せられる期待はますます大きい。限られた資金や人材を効率的に活用し、将来の収益につなげる仕組みを作っていく。3つ目は、「海外事業の強化」。国内とは裏腹に、中国・インドなどアジアマーケットでは石油の需要が伸びている。グローバルな視野と発想を以って、このビジネスチャンスを生かす。4つ目は「上流事業のさらなる強化・育成」。原油価格の高騰の中、上流の開発部門は当社グループの収益の柱であり、さらなる拡大のための戦略を構築していく。

最後に新日本石油の社員として期待することを述べる。

現状に甘んじて、今までのやり方を踏襲するのではなく、常に問題意識をもって、あらゆることにどんどんチャレンジしてほしい。そして、「お客様の視点」を意識してほしい。お客様のため、社会のためにどのような価値を提供できるのかを常に意識して、行動してほしい。

会社の発展に一番大事なものは、社員一人ひとりの「人間力の高さ」と、これを基盤とした信頼関係や活力ある組織である。「人間力の高さ」とは、常に高い志と倫理観を持って物事にあたることであり、そして、前例や既成概念にとらわれずに挑戦する気概をもつこと。「人間力」は自分ひとりの力だけでなく、上司や先輩、同期など多くの人との繋がりのなかで育まれていくものである。共に働くという「協働の意識」を大切に、積極的にコミュニケーションをとることを心掛けてほしい。常に自分の理想を高く持ち、新しい発想と変革への意思を持って果敢に挑戦する、そんな人間として大きく成長してほしい。

なお、今日からガソリン税の暫定税率が期限切れとなったが、当社は製油所出荷分については新税率を適用し、油槽所出荷分については課税済み在庫が切れるまでは旧税率を乗せて販売する。各社各様の対応を取っているが、当社としては、税体系を厳格に適用することが重要と考え、本対応とした。石油業界としては、道路建設のためのガソリン税は一般財源化すべきではないことを今後も強く主張していく。